

初めましての方は初めまして。お久しぶりの方は、お久しぶりでございます。 2008年卒業の渋谷
朋子です。

岸先輩に、何度も催促をされながらも、すっかり投稿が遅くなりました。申し訳ありません。既にネ
パールから日本に帰国し、来月からイギリスの大学院に進学する身ではありますが、ネパールで私が
行っていた仕事、ネパールのおもしろおかしいこと、文化など、この場をおかりして、皆様にご紹介
できればと思います！一度では、あの国の不思議さ、面白さは語りきれません。岸先輩の了承を得ず
に、勝手に数回に分けて紹介をさせていただく所存です。どうぞお仕事でお疲れの合間に、恐ろしく
暑く寝れない夜に、空手の練習後にでも、さらっと読んでいただけますと幸いです。

① ネパールってどこ？



ネパールは、大国 中国とインドに挟まれた小さな国で、日本の約 1/3 の面積に 2600 万人(日本の約
1/5)もの人々が住んでいます。



わたしは、首都カトマンズから飛行機で 30 分、バスで 7~8 時間 (!!)(直線距離 200Km)のところに
位置するネパール第二の都市ポカラに住んでいました。

② ネパールといえば

ネパールと言えば、最近、三浦雄一郎さんが世界最高齢でエベレストに登頂したことが世間の話題を
さらいました。北には、三浦さんが登った 8000m 級のヒマラヤがそびえ立っています。



↑ポカラ近郊の村からみたヒマラヤ



↑私が働いていた村から見たヒマラヤ

(毎日家から見える美しいヒマラヤは、言葉では言い尽くしがたいものです!!)

さらに、北にそびえるヒマラヤの合間を2日かかりでジープで通り抜け、5日間歩いた末にたどり着いた、標高4800mのネパール・中国国境です。



↑中国・ネパール国境 (標高4800m)

反対のネパールの南側、標高80mに位置するインド国境はこのような感じですが、往来は活発ですが、この地域、真夏には、道をどうどうと闊歩する牛と同じスピードでしか歩けないほどの暑さです。



↑インド・ネパール国境(標高80m)



↑インド・ネパール国境付近

このような標高80mから8848mまである地理的要因のため、北側と南側では、全く言語、生活習慣が異なる民族が一つの国に住んでいます。なんと101民族、言語は92言語あるとのこと。多民族・多言語社会です。一つの国で仕事をしながら、全くことなる言語がいたるところで聞こえ、異なる顔の人たちが往来をいきかかっており、ほんとうに不思議で、面白いものでした。

③ なぜネパールへ？

さて、なぜこんな国になんで私がいったのか、なんていぶかしんでいる方もいらっしゃるかと思いますので、簡単に説明を。

一時、事業時分けで世間を騒がせた、「青年海外協力隊」で2011年1月から2013年1月までの間にいってきました。急に思い立ったわけではなく、「途上国」や「紛争」に興味を抱いたのは、小学3年生の頃。ちょうどルワンダの内戦、虐殺を新聞で読んでいて、「なぜ世界で、今まで近所に住んでいた人たちが、ナタを手に、近所の住民を虐殺するようになったのだろう。」と子供心にいつも疑問を思っていました。高校・大学と空手ばかりしていましたが、運良く新卒で、途上国でプラントや道路、港湾などの建設プロジェクトをもつコンサルタント会社に入社し、法務部に所属していました。海外出張で2ヶ月弱いかせていただいたときに出会った、360度工事現場で海外労働者をまとめ、かつ強い思いでプロジェクトに携わっている様々な分野のベトナム・カンボジアの技術士さんたちにすっかり惚れ込み、わたしも、現場で調査や交渉、プロジェクトを管理するような仕事をしたい、とすっぱり、きっぱりと会社を辞める決心をしました。保健分野には昔から興味があり、将来、途上国の現場で活躍する公衆衛生のコンサルタントになるにはどうしたらいいか、と調べたところ、最低、大学の修士はいるとのこと。とはいうものの、現場を知らずに大学院にいったところで、机上の空論にしかすぎない、と思い、手っ取り早くいける協力隊を志願したところ、たまたま当時、わたしの希望する仕事がネパールにあったわけです。

こんな不景気に仕事を辞めていくなんて、と母親と旅行の帰りの千歳空港で言い合いになったことが鮮明に今でも思い出されます。反対されるのはわかっていましたから、全てが決まったあとに、北海道旅行で楽しい気分の方に、かつ公の場の空港だと怒れないだろう、と段を踏んで話をしました。が、結果は大外れで、公共の場で大声で反対され、反対されたまま出国しました。

次回はわたしの仕事について書かせていただく予定です！

追伸：先日、地元博多の祭、博多祇園山笠に朝の3時に起きていって来ました！（開始はなんと朝の4時59分！）10年ぶりの男衆のふんどし姿に驚きつつ、博多の男はやはりかっこよかね～、と思いを新たにしてきたところです。（もちろん、空手男子・女子も魅力あふれていると思います！）



まだまだ。暑い日々が続きそうですね。どうぞお体のほうご自愛くださいませ。

オイサ！（博多弁） フェリベトーン！（ネパール語）